



八幡平市市民憲章

八幡平市は、岩手山・八幡平・安比高原の裾野に広がる大自然にめぐまれた農（みのり）と輝（ひかり）の大地です

わたくしたちは、心をつなげて、お互いの幸せを願い、ここに市民憲章を定めます

- 1、 わたくしたちは、自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちをつくります
- 1、 わたくしたちは、心身をきたえ、活力にみちたまちをつくります
- 1、 わたくしたちは、ふれあいを大切に、人情あふれるまちをつくります
- 1、 わたくしたちは、共に学び働き、暮らしのゆたかなまちをつくります
- 1、 わたくしたちは、限りない未来に向け、希望にもえるまちをつくります

八幡平市の「花」「鳥」「木」



花
「リンドウ」



鳥
「ヤマドリ」



木
「アカマツ」

リンドウ科の多年草で、青紫色の鐘形の花を咲かせ、八幡平市は品質・生産量とも日本一を誇る。海外への輸出も拡大し、躍進を続ける市を象徴するのにふさわしい花である。

日本固有のキジ科の留鳥で、まだら模様のある茶褐色の羽毛と筋模様のある長い尾のある美しい鳥である。市内全域の山林に生息し、市民に馴染みの深い鳥である。

マツ科の常緑針葉高木で、本県産の代表的樹種である。市内いたるところに生育し、樹齢120年を超えるアカマツ天然林もあり、そのたくましさは伸びゆく市にふさわしい木である。